

相續稅法案外一 特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

相續稅法案

登錄稅法中改正法律案

委員氏名

委員長

公爵二條

基弘君

副委員長

伯爵正親町

實正君

委員

子爵谷

干城君

子爵稻垣

太祥君

子爵水野

直君

松岡

康毅君

男爵船越

衛君

平山

成信君

高木

兼寛君

男爵西五辻

文仲君

男爵吉川

重吉君

男爵本多

政以君

武井

守正君

山本

達雄君

桑田

熊藏君

明治三十七年十二月二十三日(金曜日)午前十時二十七分開會

○委員長(公爵二條基弘君) ソレデハ是カラ開會イタシマス、今日ハ質問ヲ始メマス

○男爵船越衛君 質問モゴザイマスガ、大體ノ主意ヲ一應御辯明ニナッテラハ質問

ヲスルニ宜カラウト思ヒマス、主任カラ……

○政府委員(若槻禮次郎君) 此相續稅法案ノ大體ニ付テ一應説明ヲ申上ゲマスガ、

此度軍費ノ支辨ノ爲ニ歳入ノ巨額ヲ要シマスル中ニ租稅カラモ相當ノ收入ヲ得ンケ

レバナラヌト云フコトニナリマシテ、外ノ豫算案等ニ於テ既ニ御承知ニナッテ居リマスル如

キ額ヲ租稅カラ徵收シヤウ、ソレニ付テハ現在アリマス稅ヲ増シテ徵收スルコト云フコトモ

澤山出デ居リマスルコトハ御承知ノ通りデゴザイマス、又新シク此織物ニ稅ヲカケルトカ

鹽ノ專賣ヲスルトカ云フヤウニナッテ歳入ノ方法ヲ講ジテアリマスルコトハ御承知ノ通りデア

リマスガ、斯ノ如クシテ色々ノ財源ヲ求メマシタ時ニ尙ホ財產カラシテノ收入ヲモ得テ、サ

ウシテ此今回必要ナル歳入ヲ充スト云フコトガ相當デアルト云フノデゴザイマシテ其財產

カラ收入ヲ得ルト云フ方法ガ相續稅法トシテ茲ニ御協賛ヲ仰ゲヤウニナッテデゴザイマ

ス、即チ財產ニ就テ歳入ヲ得マスルニ付テハ相續ト云フ機會ノアツタトキニ、是カラ歳入

ヲ國庫ノ方ニ得ルト云フ、斯ウ云フ方法デゴザイマスノデ、其相續稅法ノ仕組ハ相續ガ

開ケマスツト云フ、其相續財產ノ價ニ應ジテ若干ノ租稅ヲ政府ニ納メル、斯ウ云フ事デ

ゴザイマス、大體案ノ仕組ヲ申上ゲマスルニ付テ先ヅ以テ此相續稅ノ掛ルモノハ、ドウ

云フヤウナモノニ相續稅ガ掛ルカ、即チ相續稅ヲ課セラルベキ財產ト云フモノハ如何ナル

モノデアアルカト云フコトヲ第一ニ申上ゲマス、ソレハ帝國ノ内ニアリマス而カモ相續稅法

ノ行ハレル所ト申上ゲマスノハ、此法律ハ臺灣ニ施行スルコト云フ勅令ハ出サナイ積リデゴ

ザイマスカラ、即チ帝國内デ臺灣ヲ除イタ其以外ノ處ト云フ意味デゴザイマス、相續稅

法施行地ト申スノハ、其處ニアリマスル相續財產ニ稅ヲ掛ケルト云フコトデアアル、併ナガ

ラドウ云フ財產ガ本法施行地ニアルモノデアアルヤ否ヤト云フコトハ、物ニ依リマスルコト隨

分疑ヒノアルモノガアル、ソコデ法律デハ施行上セ、疑義ノ生ゼヌ爲ニドウ云フモノガ本

法施行地ニ在ルモノト看做スベキモノデアアルカト云フコトヲ極メテ置ク必要ガアル認メマ

シテ、ソコデ被相續人ガ本法施行地ニ住所ヲ持ッテ居リマス時、即チ本法施行地デ相

續ガ開ケマシタ場合デゴザイマス、其時ニ於テハ此本法施行地ニ在ル不動産ノ動産、ソレ

カラ本法施行地ニアル不動産ノ上ニ存シテ居ル權利、例ヘバ地上權、永小作權、賃

借權ト云フ、サウ云フ權利及其他債權或ハ特許權、發明權、著作權ト云フヤウナ財

產權、ソレハ凡テ本法施行地ニアルモノト看做ス……本法施行地ニアルモノトスル、若

シ被相續人ガ本法施行地ニ住所ヲ持ッテ居リマセヌ時即チ相續ガ外國又ハ臺灣ニ於テ

開ケマシタ場合ニ於テハ內國ニアリマスル動産及ビ不動産並ニ內國ニアル不動産ノ上ニ

存シテ居ル權利タケハ本法施行地ニアルモノト見マスケレドモ其以外ノ權利ハ本法施行

地ニアル財產ト見ナイ、從ッテ相續稅ヲ課セヌ、斯ウ云フ仕組ニ致シマス、ソレカラ相

續稅ヲ課スルニ就テハ財產ノ總額ニ直チニ之ヲ課スルカ或ハ總額ノ中カラ債務等ヲ差

引シテ之ニ課稅スルカト云フコトハ是ガ又一ノ極メテ置カナケレバナラヌ點デゴザイマス

ノ、ソコデソレヲ定メマシテ財產ノ總額ノ中カラ租稅其他ノ公課ノ、マダ納濟ニナッテ居

ナイモノガアリマスレバ、ソレヲ差引キ、被相續人ノ葬式ノ費用ガ掛ッタモノハソレヲ差引

キ、尙ホ被相續人ガ遺シテ置キマシタ負債ノ高ト云フモノハ更ニ差引イテ結局全ク是

ケガ何モ負擔ナクシテ相續人ニ移ルベキ高デアルト云フモノニ對シテ相續稅ヲカケルデア

ル、斯様ニ致スノデアアリマス、ソレカラ尙ホ其財產ノ價ヲ定メマスニ付テハ是亦何カ法律

上ニ定メテ置キマセヌト、ドウシテ財產ノ價ヲ極メカト云フコトガ確カマリマセヌカラ、ソ

コデ財產ノ價ハ原則トシテハ相續ノ開ケタ當時ノ賣買ノ價ニ依ッテ之ヲ定メルノデア

ル、斯ウ云フ原則ヲ定メマシテ尙ホ其價ノ定メ惡イヤウナモノ、例ヘバ船舶ノ價デアルトカ、

地上權ノ價トカ、定期金ノ價トカ云ウヤウナ賣買價格ト申シマシテモ、チヨットドウシテ

其賣買價格ヲ調ベルカト云フコトノ出來惡イモノニ就テハ立法上凡ッ斯ウ云フヤウニ極

メレバ無理デナクシテ、サウシテ同時ニ又大體ニ於テ適當ナモノガ得ラレルト云フヤウニ極

メラレモノハ法律ノ上ニ斯ウシテ價ヲ極メルノデアルト云フコトヲ定メマシタ、ソレハ第四

條ニ色々斯ウ云フヤウニ價ヲ定メルト云フコトヲ定メマシタ、尙ホ相續稅ヲ課シマスニ付

テハドシナ相續財產デモ凡テ稅ヲ課スルコトニスルカ、或ハ餘リ小サナ相續財產ハ稅ヲ課

セヌヤウニスルカト云フコトハ、ドウシテモ極メテ置キマセヌケレバナラヌノデ、是ハ所得稅デ

モ御承知ノ如ク二百圓以下ノ所得ニハ課稅ヲセヌト云フコト同ジカラ井ナモノデ、稅ヲ

課シマスレバサウ小サナ所マデ往カヌノガ相當デアラウト思ヒマスカラ、ソコデ家督相續ハ

千圓以上ノ價ガ無ケレバ相續稅ハカケヌ、遺產相續ハ五百圓以上ノ價ガ無ケレバ相續

稅ハ課セヌト云フコトニ致シマス、家督相續ノ遺產相續ト付テ其最低限ノ金額ノ

違ヒマスル所以ノモノハ家督相續ニ付テハ家督相續人ハ相續後家族ヲ扶養スル義務ヲ

ト云フ、斯ウ云フ方針ニ出タノデゴザイマス、ソレカラ相續稅ノ稅率ニ付キマシテハ是ハ先ヅ以テ唯今申上ケル家族扶養ノ義務即チ相續人ガ家族扶養ノ義務ヲ負ヒマス所ノ家督相續、ソレカラサウ云フ義務ノ無イ遺產相續トハ自ラ稅率ヲ變ヘテ往テ家督相續ニ付テハ稍々輕ク課稅スル、遺產相續ハソレニ比スレバ幾分力高ク課稅シテモ宜カラウシ又同時ニサウスルコトガ雙方ノ權衡ヲ得タモノデアル、ソレデ先ヅ以テ家督相續ト遺產相續トヲ分ケマシテ然レ後ニ所得ニ稅ヲカケル、又財產ニ稅ヲカケルト云フ場合ニ於テ小ナル所得者或ハ財產者、大ナル所得者或ハ財產者ノ間ニ於テ同割合デ課稅ヲ致シマスト稅ヲ納メル人ノ苦ミト云フモノハドウシテモ小サナ所得者、小サナ財產者ノ方ガ餘計ニ苦痛ヲ覺エルト云フコトニナリマスカラ其苦痛ヲ成ルベク同様ニスルガ爲ニ、高イ所ト低イ所トノ間ニハ自ラ區別ヲ立テ差等ヲ設ケテ課稅スルコトガ相當デアル、斯ウ云フ意味ヲ以テ課稅價格ノ多少ニ依テ稅率ガ多クナルホド幾分重イ稅率デ課稅セラレ、斯ウ云フヤウナ仕組ヲ取リマシタ、ソレカラ相續稅ニ付キマシテハ是ハ又被相續人ナドノ意思ヲ餘ホド斟酌シナケレバナラヌデ、被相續人ハ自分ノ近イ最近親ノ者ガ相續スルトキニハ成ルベク其者ニ餘計財產ヲ遺シタイト云フノガ人情デゴザイマス、續キ柄ガ近ケレバ……相續人ト被相續人ト續キガ近ケレバ餘計ニ財產ヲ遺シタイト云フノガ被相續人ノ普通ノ人情デアル、自然ノ定メテ其順序ヲ課稅上ニモ認メテ續キノ近イモノニ對シテハ幾分力負擔ヲ輕クシ、其續キノ稍々遠イ所ノモノニ付テハ最近親ノ者ヨリモ比較的高ク稅ヲ課スルト云フコトニ致シマスノハ人情ノ自然ノ要求ニ應ズル譯デアリマスカラシテ、被相續人ト相續人トノ續キノ如何ニ依テ又稅率ヲ幾分力違ヘテゴザイマス、大體斯ウ云フ仕組デアルガ、コ、デ一言申シテ置キマスコトハ所得稅ニ付テハ例ヘバ千圓以下ハ千分ノ十二デアル、千圓以上ハ千分ノ十五デアルト云フ率ヲ設ケテアッデ九百九十九圓マデノモノハ、ソレニ對シテ千分ノ十二ヲカケルガ千一圓トナルト其總額ニ對シテ千分ノ十五ヲカケテ課稅スルノガ所得法ノ規定デゴザイマスガ、今回提出イタシマシタ所ノ相續稅ノ適用ハ是ハ實ニ細カイトデゴザイマスガ、少シ違フ所ガアリマスカラ一言申上ゲマスガ、是ハ其金高ガ五千圓以上ナラ其五千圓以上ニナル金高ノミニ對シテ高イ稅率ガ適用セラレ、ノデアリマスカラ、例ヲ舉ゲテ見ルト一万五千圓ノ高ニ稅ヲ課スル時分ニハドウナルカト申シマス、初メノ五千圓ニ付テハ千分ノ十二ノ率デ稅ヲ課シ、ソレカラ五千圓カラ一万圓マデノ間ノ五千圓ハ千分ノ十五ノ率デ稅ヲ出シ、又其上ノ一万圓カラ一万五千圓マデノ間ノ五千圓ハ千分ノ十七ノ率デ稅ヲ課ス、ソレヲ合セタモノガ一万五千圓ノ價ノ財產ヲ相續スル時ノ稅ニナルト云フコトニナリマス、其邊ハ所得稅法ナドヨリモ段々稅率ノ上ヅテ行ク度合ガ餘ホド緩和シテアル次第デゴザイマスカラ此事ヲ一言申上ゲテ置キマス、ソレカラ相續稅ヲ課シマスルニ付テハ如何ナル者ニモ相續稅ヲカケルト云フコトニシマス、或ル場合ニ依ルト無理ノモノガアラウト思ハレルノデ、ソコデ現ニ我々が考ヘナケレバナラヌコトハ目下ノ戰爭ニ從事シテ忠勇ノ爲ニ戰死ヲシタ人ガ其結果トシテ直グ相續稅ヲ課セラレルトコトニナルハ誠ニ不都合デアラウト思ヒマスカラ、戰死或ハ戰爭ノ爲ニ起ツタ傷若クハ病カラ從テ死亡ヲ起シ依テ相續ヲ開始シタ時ニハ相續稅ヲカケヌコトニシテアリマス、ソレカラ又相續稅ヲ頻繁ニ課稅スルコトニナルト家ニ依テハ兩三年ノ間ニ二度モ二度モ相續稅ヲ拂フヤウナコトガ起ラヌトハ限ラヌ、然ル

ニ彼ノ反對ノ場合ニ於テハ數十年間相續ト云フコトガ開ケヌ爲ニ相續稅ヲ納メナイト云フコトニナリマシテ餘ホド不權衡ナコトニナリマスカラ、ソレ故ニ餘リ頻繁ニ課稅シナイ爲ニ一遍相續ガアッデカラ三年ノ間ニ又相續ト云フコトガ開ケタ場合ニハ前ノ相續デ相續稅ヲ拂フタケケノモノハ相續稅ヲ取ラナイ、又五年以内デアルナラバ半分シカ取ラナイト云フヤウニ致シテ、サウシテ頻繁ニ相續稅ヲ拂フト云フコトノ不權衡ヲ來サヌヤウナ仕組ヲ取リマシタ、其他ハ相續稅ノ徵集ノ手續デゴザイマスノデ、相續ガ開始シマスレバ居ケル、居ガ出レバ稅務署ニ於テ調査ヲシテ相續稅ヲ課セラレルト云フコトヲ定メテ、其定メタ所ヲ通知シ、其通知ニ付テ納メルノデアリマスガ、若シモ其價格ニ付テ異論デモアルナラバ、モウ一遍調査シテ價フコトガ出來ル、其時ニハ審査委員會ヲ開イテソレヲ決定シ、其決定ヲ參考ニシテ政府ノ方デ決定イタシマス、ケレドモ尙ホソレニ對シテ異論ノアル者ハ訴願トカ訴訟トカ云フモノハ無論ニ起サレルノデアリマス、尙ホ相續稅ハ財產ニ對スル稅額デゴザイマスルカラ時トシテハ其稅額ノ非常ニ多イコトガゴザイマス、サウ云フ大キナ額ヲ一時ニ納メルト云フコトニナルト場合ニ依ッデハ相續財產ヲ賣却セヌケレバナラヌヤウナコトガ起リマスカラ、百圓以上ノ稅金ヲ納メル場合ニハ延納ヲ許シ、三年以内ハ延納スルコトガ出來ル、即チ年賦デ稅金ヲ拂フコトガ出來ルト云フコトニシテ、サウシテ相續稅ヲ納メルニ付テ納付者ニ成ルベク苦痛ヲ感ズルコトヲ少クシテヤリタイト云フコトガ講ジテアルノデゴザイマス、大體申シテ見ルト此相續稅法ノ仕組ハ先ヅ左様ナ譯デゴザイマスガ、尙ホ細カイトハ御尋ガゴザイマスレバ如何様ニ申上ゲマス

○武井守正君 今ノ御説明ニ此法案ハ臨時事件ノ經費ニ付テ立テタト云フコトデアッデ、又此理由書ニモ其通り書イテアリマスガ、サウスルトハ矢張り非常特別稅デアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 臨時事件デ金ヲ要シマス故ニ租稅ヲ取ラナケレバナラヌト云フ必要カラ起ツタモノデアリマスガ、併シソレナラ今日ノ戰爭ガ熄シテラバ直グニ此稅法ヲヤメルカト云フト左様デハゴザイマセヌ、相續稅ノヤウナ稅ハ其物ノ性質トシテ唯一時施行スルト云フコトニナリマス其間ニ相續ヲ開始シタ者ハ多クノ負擔ヲナシ、相續ヲ開始セヌ者ハ少シモ稅ヲ負擔セヌト云フ不公平ガ起リマス、若シ是ガ一時ノモノデアルトシマスレバ死亡ノ如キ自然ノ結果ニ伴フモノハ暫ク措イテ、サウデナイ所ノ者ハ先ヅ暫ク相續ノ開始ヲ避ケテ相續稅ヲ免レルト云フコトガ起リマスカラ、此稅其物ガ一時ノ施行ヲ許サヌモノデアリマスカラ、是ハ永遠ニ施行セラレ、所ノ法律トシテアルノデゴザイマス、此法律ヲ提出スル必要ノ起リマシタハ目下ノ戰爭ノ爲ニ軍費ヲ供給シナケレバナラヌト云フ所カラ來タノデアリマスガ、尙ホ此法律ヲイツマデモ殘シテ置カウト云フノハ、將來相當ノ收入ヲ要スルコトデゴザイマスカラ此相續稅ハ將來ノ財源トシテ殘シテ置クノガ相當デアラウト考ヘマス

○子爵稻垣太祥君 チョット續イテ伺ヒマスガ、此臨時事件費ヲ補フ爲ニ此案ヲ出シタト云フ御話デゴザイマシタガ、新聞ニハ四百三十万九千圓ト云フヤウニ書イテアリマスガ、果シテ其通りデゴザイマスカ、衆議院ノ修正ノ結果ドノクラ井減シマシタカ、ソレヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 此相續稅ノ三十八年度ノ歲入ハ四百三十万九

千五百九十一圓ト云フノハ御尋ノ通りデゴザイマス、然ルニ衆議院ガ此稅率ヲ修正シマシテ直系昇屬ガ相續ノ場合ニハ其相續人ガ嫡出デアルト私生兒若クハ庶出ヲ問ハヌト云フコトニナリマシタカラ其爲ニ減額イタシマスモノガ四萬圓バカリト云フ計算デアリマス、併ナカラ此相續稅額ノ計算ハ庶出ニ當ル者ガドレ程デアル嫡出ニ當ル者ガドレ程デアルト云フコトハ推算デ出シテアルノデゴザイマスカラ、衆議院ノ修正ニ依テ四萬圓減ズルト云フノモ矢張り是モ推算デアリマスガ、實際サウ大變ニ變ルヤウナコトハアリマスマイト思ヒマス、何トナレバ庶出ノ者ヤ私生兒ガ相續ヲスルト云フ場合ハ極メテ少イ場合デゴザイマスカラ

○男爵船越衛君 唯今武井君カラノ御尋ネモ戰時稅ニ就テノコトデゴザイマスガ、御辯明ハ全ク永續スルヤウニト云フ主意デゴザイマス、然ルニ矢張り此理由書ニハ「臨時事件ニ因ル經費ノ増加ニ伴ヒ」トアリマス、是デ往クトウシテモ戰時稅ト言ハナクチャナリマセヌガ、ドウデゴザイマスガ、理由書デ矢張り永續稅ト云フコトニナリマスガ

○政府委員(若槻禮次郎君) 既ニ此三十八年度ニ於テ四百三十萬圓ノ收入ヲ豫期シテ居リマス、竝ニ四百三十萬圓ノ歳入ハ三十九年度ニ於テモ尙ホ是デケハ這入ルト云フ考ヲ持テ居リマス、サウシマスルト此金額ト云フモノハ今軍費ノ必要トシテ租稅ノ歳入カラ八千何百萬圓供給スルト云フ其中ニ矢張り這入リマスノデゴザイマスカラ、相續稅ト云フモノハ矢張り今回ノ臨時事件ノ經費ノ増加ニ伴フテ必要デアリマス故ニ設ケタノデアリマス、併シソナラ其事ガ熄シタラ四百三十萬圓ノ歳入ハ無クシテ相續稅ヲ止メテ宜シイカト云フト其後ニモ歳入ヲ是クラ并要スルコトハ無論アラウト思ヒマス、ノミナラズ若シ此稅法ヲ一時ノ稅法ト致シマスト四百三十萬圓ト云フモノハ三十八年度、三十九年度ニ收入ガ出來マイト思ヒマス、是レガ永遠ニ致シマスコトハ即チ今日四百三十萬圓ヲ得テ三十八年度ナリ、三十九年度ナリノ軍費ニ供給スルコトニナリマス次第デアリマス、ソレ故ニ理由書ニ「臨時事件ニ因ル經費ノ増加ニ伴ヒ」ト書イデアリマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ御尋ネラシマス、サウスルト四百三十萬圓ノ凡ソ豫定ト……是ハ勿論確定シタコトハ御申述ベニナラヌノガ宜カラウト思ヒマス、其中推算ニシテモ動產デ幾ラノ不動產デ幾ラト云フコトハ凡ソ御推定ガアリマセウガ、ソレハ如何

○政府委員(若槻禮次郎君) 相續稅ノ計算ヲ立デマストキニ動產ノ方カラ云フト稅額ガ幾ラ、不動產ノ方カラ生ズル稅額ガ幾ラト云フヤウニハ立デマセヌデ、總體ノ財產ヲ計算イタシマシテ、サウシテ財產ノ高ニ應シテソレヲ割當テタラバ千圓以下ノモノノ位アラウカ、以上ノモノノ位アラウカ、千圓以上トシテモ此稅率デ設ケタ一萬圓、二萬圓三萬圓ト云フ階段ノ所ハドウ云フヤウニ分レルカト云フコトヲ推算シテ行キマシタナラバ丁度動產ガ幾ラ、不動產ガ幾ラト云フコトハ稅ノ上デハ分ケテ申上ケ惡イガ、併シ財產ヲ調ベマストキニ不動產ニ屬スルモノガチヨット八十億モアラウト云フ考、其他色々鑛山ナドヤ何カゴザイマスガ、合セマシテ十二億幾ラ財產ノ價ガアラウト云フ見込ヲ立デマシタ、動產ニ就テハ二十億バカリト見込シテ居リマスカラ、ソレデ動產ノ程度ハ即チ總體ノ歳入ノ中カラシテ其小部分トシテ見込シテ居リマス、ケレドモチヨットミレダケガソレデアルト云フコトノ計算ハ示シテ御目ニ掛ケルコトガ出來マセヌ

○男爵船越衛君 計算デハ御見セニナラヌガ大凡ハ御推定ハアラウ、四百三十萬ノ中

デ先ツ動產デ是デケ取レル、不動產ガ是デケト云フソレヲ、一ツ御聽キシタイノハ動產ハ矢張りミツカシイト思ヒマス、動產ハ中ニ限度ガミツカシイ、是ハマア御承知デアデ段々マデモ御話モアッタヤウニ伺ッテ居マスガ、其動產ニ就テ若シ大層減シデモスルト總體ノ豫算ニ關スルト思ヒマス、大凡ノ御推定ヲ伺フテ置キタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハボンノ私ガ此處ヘ豫算デ出シマシタ以外ニ於テ目ノ子勘定デ申上ゲルノデゴザイマスカラ勿論正確ナモノト申ス譯ニハ行キマセヌガ、此豫算ヲ立デマシタノニ初メ財產ノ高ヲ百二十五億ト斯ウ總體ヲ立デマシタ、其中デ動產ノ高ヲ二十一億ト見テ居リマスカラ詰リ總財產ノ中ノ六分ノ一バカリガ動產デアルト見テ居リマス、之ヲ稅ノ方ヘ應用シマシテ四百三十萬圓ニ付テ其六分ノ一グラ井ノ動產ハアルモノト假定シテ申上ゲマスレバ、六七四十二、チヨット七十萬圓バカリノモノデ動產ニ來ルト思ヒマス、併シ實際ニ於テ私ガ唯今申上ゲタヤウニ行カズ寧ロ不動產ノ方ガ多カラウト思フ、七十萬圓ヨリモ動產ノ方ガ少ナカラウト思ヒマスガ、勘定ノ表デ申シマスルトサウナリマス

○子爵稻垣太祥君 チヨット伺ヒマスガ、動產ト云フコトハ動產總デニ是ハ係ルガ、今ノ百二十五億對シテ二十一デアリマスルガ是ハ動產トハ言ヘ總テ極端ヲ言ヘバ紙一枚ニモ及ビマス、其處マデ及ボシマスガ、二十一デアザイマスガ、ソレトモ其中重モノヲ除キニナデ二十一デアザイマスガ

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今申上ゲタノハ物ノ推算ヲスルトキニ唯二十一ト云フノハ色ノモノヲ想像シテ書キマシタノデ、勿論、紙一枚、膳、枕、幾ラト云フ所マデハ見テ居リマセヌ、二十幾ラト云フモノハ實ハサウ云フコトハ見テ居リマセヌ、又實際施行ノ上ヲ申シマス、動產ニ就テハ細カイトハ到底居ケル人モ居ケナイイダラウト思ヒマス、稅務署ノ人間モサウ云フ細カイト所ノコトハ申シマセヌデアラウト思ヒマス、相續財產中デ動產ガ是デケアル、斯ウ云フコトヲ言ハル、ナラバソレヲ認メルト云フ位ナコト以上ニハ到底是ハ檢査ナドスルモノデハゴザイマセヌカラ進ミ得ラレマイト思ヒマス、併シ勘定ヲ立デマスルトキニハ相當ノ勘定ヲ付ケテケテハナリマセヌカラ唯今ノコトヲ申シマスガ、或ハ政府ノ計算ノ見積リハ多過ルカモ知レマセヌ、其事ハ既ニ世間ニ、相續稅ノ問題ニナリマシタトキニ財產ノ總額ヲ七十億或ハ八十億ト計算シテ居ル人モ多ウゴザイマス、ソレヨ百二十五億ト見タ位デアリマスカラ、或ハ動產ノ高モ或ハ政府ノ見マシタノガ多過ルヤウナ感シガアルカモ知レマセヌ、是ハ詰リ後ノ方ヘ參考書ニ差上ゲタヤウニ斯ナモノヲ集メテ斯ウデアラウカト云フ見込ヲ立デタノデアリマス

○子爵稻垣太祥君 サウスルト動產ト云フコトハ詰リ動產ノ中デ稅ノカ、ラヌ物モ出來ル、ソレデ此法律デ見マスルト動產總テニ稅ガ來ルヤウニ見エ、實際政府ノ徵收方ハ大概其處ニ限リガアルカト思フヤウニ想像サレル、ソレハドノ邊ニ付テ限度ヲ定メルト云フ考デゴザイマスガ

○政府委員(若槻禮次郎君) 法律上ノ言葉ト致シマシテハ不動產動產ト斯ウ云フヤウニ申シマス、法律デハサウ出來テ居リマスガ、併シ動產ナドニ付テ細密ナル徵稅ノ仕方ヲスルコトハ是ハ現在既ニ各國ガ相續稅ヲ持テ居ル所デスラサウ云フヤウニ往ッテ居リマセヌ、況ヤ新ニ日本デ相續稅ヲ設ケルニ當リサウ小サイコトヲ言フタ所ガ到底出來ナ

イト思ヒマスカラ、ソレデ政府ノ今日考ヘテ居リマス方針ハ動産等ニ付テハ大體ニ於テ目ボシイ物ハ届出ガアツタ、ソレヲ認メ、唯今御尋ノアル紙ダトカ、膳、枕トカ云フ物ガ書イテナイト言フテ其處マデハ往カヌ積リアリマス、法文ノ表デハ動産トアリマスガ、執行上左様ナ方針デ行ク積リアリマス

○男爵西五辻文仲君 此相續稅ヲ取立ツルト云フコトニ付テハドウ云フ方法テ取立テルカ知リマセヌガ、丁度所得稅ノ調査委員ト云フヤウナ者ヲ置イテ相續開始ノ時分ニ届出ガアツタナラバ、財産ノ届出ヲ唯認メテアリマス、イヤオ前ノ所ハ届出ガ少ナイトカ多イトカ言フテ調ベテマスカ、其方法ハドウ云フノデアリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) チヨット甚ダ失禮デゴザイマスガ初メノ方ヲ伺漏シマシタカラ……

○男爵西五辻文仲君 詰リ相續開始ニナツデ之ヲ徵稅スル、其仕方ハ所得稅調査委員ト同ジヤウナ者ヲ平常デモ置イテ、居ガアレバソレヲ唯至當ノモノト見テ徵收スルカ或ハオ前ノ所ハ届出ガ少ナイトカ多イトカ云フ明細ノ調査ガ初マッテ來テハ混雜ガアラウト思ヒマスガ……

○政府委員(若槻禮次郎君) 調査委員ト云フ者ヲ常ニ置クト云フヤウナコトハ致シマセヌノデ、相續ノ開始ノハ當時ナイモノデアルカラ委員會ナドヲ常ニ置クト云フコトハ致シマセヌノデ、ソレハ届出稅務署ノ方ヘ出テ、稅務署ノミデ調ベルノデ、ソレニ異論ガアツテ不服ノ申立ガアルト審査委員會ヲ開イテ、其時ニ初メテサウ云フ委員會ヲ調ベル、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ當初、稅務署決定スル時ニ細カイ事マデソレハソウデヤナイ斯ウデヤナイカト云フコトヲ御尋デゴザイマスガ、ソレニ付テハ不動産等ノ如キハ價ガチヨット見當ノ付クモノデアリマス、ソレハ届出ノ高ノ少ナイ時ハ斯ウデアアルマイト云フコトモ申スデアリマセウ、ソレカラ此法律ノ中ニ書イテアリマス永小作權トカ船舶トカハドウシテ勘定スルト云フ、法律ガ言フテ居ルヤウナコト違フテ居リマス、此又言ノ通りマスルト云フコトハゴザイマセヌ、ソレハ不動産ノ中ニモ公債證書トカ株券ト云フヤウナモノモゴザイマスガ、是モ自ラ市場ニ價ガゴザイマス、政府ノ見込ハ斯ウデアルト云フコトモアラウト思ヒマス、其他ノ家具什ノヤウナ物ニ至リマシテハ是ハ稅務署ナド一々細カニ是ハ斯ウデアラウア、デアラウト云フコトハ能ク言ヘマイト思フ、何トナレバ現物ヲ茲ヘ提供シテ置イテ評價スルナラバ兎モ角モサウデナク、書面ニ依テコトデアリマス、本人が是デケアルト云フモノヲ、サウデアアルマイト云フヤウニシテ、細カイコトヲ仔細ニ調査スルヤウナコトハ無イコトニ施行スルノデアリマス

○桑田熊藏君 本案ノ大體ニ付キマシテ質問ヲシマスガ、此相續稅法ト云フモノハ無論此戰時ノ財政ノ急ニ應ズルト云フ考デ出來タト云フコトハ能ク分リマシタガ、元來相續ニ課稅スルト云フコトガ、相續稅ト云フモノガ隨分議論ノアル問題デアリマシテ、歐羅巴ノ例ニモ澤山ニ例ハアリマスガ、其歐羅巴ニ於ケル立法ノ論據ハドウカト云フ、相續ニ依テ財產ヲ得ルト云フノハ、詰リ相續ト云フ偶然ノ事實ニ依テ相續人が毫モ勞力ヲ加ヘズシテ財產ヲ得ルノデアルカラ、之ニ對シテ相當ノ課稅ヲスルノハ至當デアルト云フ論據デ多ク出來テ居リマス、日本ノ相續稅法案ハ左様ナ意味デアリマス、マイト思ヒマスガ、唯相續ノ財產ニ付テ、相續ト云フ事實ヲ標準トシテ課稅スルト云フヤウニ伺

ヒマシタガ、但シ此第八條ニ於キマシテ家督相續ニ相續人ト被相續人トノ血族關係ニ依テ稅率ガ違フテ居ル、若シ家督相續人ニシテ家ノ財產ヲ相續シ又同時ニ家名ヲ相續シマシタ以上ハ相續人ト被相續人ノ血族關係ニ依テ等差ヲ設ケルト云フコトハ日本ノ家ヲ重シズルト云フコトニ對シテ背クノデアリナカト云フ考ガアリマスガ、矢張り西洋ノ相續稅法ノ立法ノ理由ヲ多少御斟酌ニナツタモノデアリマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 相續稅ハ財產ニ課稅スル、財產カラ歲入ヲ得タイト云フノデ相續稅ヲ設ケタノデアリマシテ、其財產ニ課稅スルニ付テハ相續稅トシタカト云フ、相續ノ機會ニ於テハ誰デモ先ツ財產ヲ調査シテ得ラケアルト云フコトヲ見ル、常ニ財產ガ是デケアルト云フ調査ハ各人ノ殆ト爲サル所デゴザイマス、財產ノ調査ヲスル其機會ニ於テ財產カラ稅ヲ取テ行クト云フ斯ウ云フ仕組ニスルノガ徵稅ノ方法デア

ル、財政上ノ一ノ方法デア、ソレデ斯ウ云フ仕組ヲ採リマシタ、ソレカラ家督相續ニ付テ相續人ト被相續人トノ關係ニ依テ稅率ノ違フノハ家督相續ノ關係如何、家督相續ニ付テハドウシテモ遺產相續ト違ヘテ見ナケレバナラヌ、現ニ家督相續ヲスレバ家ヲ繼イテ其家族ヲ養ハナケレバナラヌト云フコトガアルカラ違ヘナケレバナラヌト云フ十分斟酌

ヲシテ居リマス、隨テ課稅ノ最低限モ千圓トシテ稅率モ低クシテゴザイマス、併シ其續キ柄ニ依テ違ヘタト云フノハ是ハ家族制度ヲ重シテ此家督ト云フノハ家ヲ繼グノデアルト云フノニ重キヲ置イタト同時ニ幾ラカ人情ヲ斟酌シナケレバナラヌ、人情ヲ無視シテ唯家ト云フモノノミカラ見レバ同ジモノデモ人ノ満足シナイコトニナツテ來ルカラ、ソコニ至ルト被相續人が是ハ自分ノ自然ノ相續人デ此人間ニ繼ガセタイト斯ウ考ヘテ居ル場合ニ相續人トスル、ソレカラ被相續人以外ノ者ガ選定スル場合モアリマス、或ハ父母ガ選定スル場合モアレバ親族ガ選定スル場合モアル、サウ云フヤウナ時ニ於ケル考ハドウシテモ相續人ニ於ケル人情ガ違ヒマスカラ、人情ヲ斟酌シテ續キ柄ニ依テ幾分變ヘマシタケレドモ、大體ニ於テ家族制度ヲ重シテ家ヲ繼グ者ニ對スル稅ト云フモノハ違ハナケレバナラヌト云フ精神

ハ此六條、八條等ヲ御覽下サリマス、レバ十分政府ハ其點ニ注意シテ居ル積リデアリマス

○桑田熊藏君 次ニ御質問イタシタイノハ此法案ニ於キマシテハ相續稅ハ課稅ヲスルトカ贈與ニハ課稅ヲシナイト云フ原則ニナツテ居リマス、餘リ歐羅巴ノ例ヲ申スヤウデアリマスガ、歐羅巴ニ於キマシテハ相續稅ト贈與稅ト同一ノ法律ノ中ニアルノガ多イノデアリマス、然ルニ日本ノ法案ニ於キマシテハ唯相續ニ課稅シテ贈與ニハ全ク課稅シナイ、二

三ノ例外ハアリマスガ是ハ脫稅ヲ防グノ目的ヲ以テ規定サレタ箇條デアリマシテ、原則トシテハ贈與ニハ一切課稅セヌト云フコトニナツテ居ル、然ルニ此第二十三條ニ於キマシテ、被相續人ト家督相續人トノ間若クハ被相續人ト分家ノ戸主、家族ノ間ニ於ケル贈與ニ付キマシテハ矢張り課稅ニナツテ居ル、シテ見マスルト云フト妙ナ結果ニナル、親族關係ノアル者ノ間ニ贈與ガアレバ課稅ヲスル、全ク血族ノ關係ノ無イ他人ニ贈與ヲシタ場合ニハ一切課稅ヲセヌト云フ結果ニナリマス、是ハドウ云フ御考デアリマスガ、伺ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 此贈與ノ時ニ贈與稅ヲ取り、遺贈ノ時ニ遺贈稅ヲ取ル、ソレカラ相續ノ時ニハ相續稅ヲ取ルト云フ仕組ノ外國ニ在リマスコトハ仰ノ通りデアリマス、併ナガラ又同時ニ外國ニサウ云フ場合ニハ取ラズシテ、相續財產其モノカラ取ル

ト云フヤウナ例モゴザイマス、ソレモ能ク御承知ニナッテ居ラル、デセウ、ソレデソレニ就テノ利害ハ餘程研究ヲ致シマシタガ、贈與ヲ受ケタ人、或ハ遺贈ヲ受ケタ人、或ハ相續財產ヲ讓受ケタ相續人、斯ウ云フヤウナ者カラ稅ヲ取ルト云フ仕組ニシマスルコトハ餘ホド徵稅上錯雜ナコトデアルト思ヒマス、ソコデ贈與ノ如キ共同相續ガ多クテ子供ガ相續シマストキニハ、皆分配ヲスルト云フヤウナ例ガ多クデアリマスレバ、ソレハ一ツ相續財產ニ課稅ヲスルト云フヨリモ、相續人ニ課稅ヲスル方宜イコトデアリマス、併ナカラ今日遺產相續ヲ開始ス場合ハ我國デハ極メテ少イ、我國ニ於ケル相續ト申スト先ツ家督相續、其家督相續モ共同相續デハナクシテ、相續人ハ一人アルノミデアリマスカラ、相續人カラ稅ヲ取ルモ、相續財產カラ稅ヲ取ルモ家督相續ニ於テハ殆ド同ジ結果ニナル、而シテ徵稅上ナリ又納稅上ナリノ關係カラ言フト、相續財產ニ付テ直グ取ルト云フ方ガ簡便デアルト斯ウ政府デハ認メマシタ、ソレデ此相續財產カラ取ルト云フ仕組ニ致シマシタ、サウ致シタ所デソレナラバ贈與ニ付テハドウデアルカ、贈與ニ付テ稅ヲ取ラウト思ヒマスレバ是ハ餘程煩雜ニナラウト思ヒマス、日常色ノ讓與關係ガアラウト思ヒマスガ、ソレヲ一々徵稅シテ行カナケレバナラヌト云フコトニナルト隨分煩雜デアル、ソレヨリモ財產稅ハ相續ト云フコトガ起テ皆ガ財產ノ調査ヲシタト云フ機會ニ於テ其幾分ヲ取ルト云フ仕組ニシテ、サウシテソレヲ脫スルヤウナコトガナイヤウニ防ギ付ケテ取テ行クト云フコトガ徵收ヲ全ウスルト同時ニ又徵稅上モ大變ニ簡便デ宜シ、斯ウ云フ考ヲ起シマシテ大體ニ於テハ相續財產ニ掛ケルガ、併シ相續財產ヲ大ニ減ジテ置イテ贈與ノ形デ以テ讓テ置イテ、サウシテ相續稅ヲ少クシヤウト云フコトガ起テハ困リマスカラ、ソコデ二條ニ於テ相續財產ヲ計算シマシタ場合ハ相續ノ開始スル前一年內ニ他人ニ贈與ヲシタナラバ其贈與額ヲ加ヘテ計算スル、斯ウシテ相續ノ開始スル前二財產ヲ他ニ讓ツタト云フヤウナコトヲ爲スコトヲ是デ幾分防ガウ、ソレカラ相續稅ヲ拂フコトヲ嫌フ爲ニ贈與ニスルコトガ一番多ク起ルベキノハ、今現ニ相續サセムトスル人ニ向テ贈與スル場合デアラウト思ヒマス、他人ニ向テ贈與ハ相續稅ヲ脫スル爲デアリノガ多イノデ、相續稅ヲ脫セムトスル意思ノ多クアル場合——必ズサウナルトハ申シマセヌガ、多クアル寧ロ自分ノ相續人ニ抛テ置イテモ行クベキデアルガ、生前ニ於テ贈與シテ仕舞フ、自ラ相續ノ起ツタトキニ相續稅ヲ少クシヤウト云フ弊ガアルト思ヒマス、其場合ニ於ケル防ギヲスル爲ニ第二條ヲ置キマシタ、ソレカラ分家ノ場合、是ハサウ云フ相續稅ヲ脫スル爲デアリマセヌガ分家ト云フノハ、殆ド一ノ家ヲ作ルコトデアッデ、ソレト同時ニ其贈與ト云フモノハ一ノ相續人ヲ井ニ準ゼラル、モノデアル、ソレデカラ此場合ニ於テハ矢張り相續稅ヲ課スルコトガ相當デアルト認メテ、其他ニ稅ヲ脫スル意思ナクシテ銘々共ガ……銘々共ト云フト失禮デアリマスガ、サウ云フ日常ノ小サナコトマデハ關係シナイ方ガ日常ノ取引ヲ阻礙セヌデ宜カラウ、斯ウ云フ考ヲ起シマシタ

○子爵稻垣太祥君 今二十二條ノ話ガ起リマシタカラチヨット伺ヒマスガ、二十二條ノ場合ニハ十條ノ規定ヲ適用シナイト云フコトデゴザイマス、是ハ隨分酷ナコトニナラウト思ヒマスガ、何故ニ此場合ニ限ッテ十條ノ規定ヲ適用セラレナイノデアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 此二十二條ノ場合ハ詰リ此稅ヲ連レテ行ク者ヲ防ガ

ウト云フ趣意カラ起ツタモノデゴザイマスカラ、此場合ニ今ノ相續ヨリ以後三年以内ハ宜イト云フコトニナリマシテ、サウシテ二年間ニ何遍カニ分ッテヤリマス、皆ソレヘ稅ヲカケヌデモ宜イト云フコトニナリマスカラ、此場合ハ十條ノ規定ヲ適用スルコトハ出來惡キ事情ガゴザイマス、ソレデ十條ノ規定ヲ適用セヌト云フコトニ致シマシタ

○伯爵正親町實正君 私ハチヨット退席ヲシテ居リマシタノデ、既ニ何方カラカ御尋ネニナツタカモ知レマセヌガ、是ハ衆議院修正ノ第四條ノ土地建物ノ賃貸價格ハ土地ニ付テハ賃貸價格ノ二十倍、建物ニ付テハ其十倍ト云フノヲ削除シマシタガ、是ハドウ云フ譯デアリマス、矢張り時價デアルト云フ意味デアリマス、是ハ衆議院ノ修正デアリマスガ、若シ御開及ビナラバ伺ヒタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 實ハ衆議院ノ修正ニ付テ説明ヲ申上ゲル積リデゴザイマシタガ、ソコヲ落シマシタカラ此際ニ申上ゲマスガ、土地建物ナドノコトニ付テハ衆議院デ色々論ガゴザイマシタ、大體ニ於テ賃貸價格ノ幾ラト云フヤウニ定メテ色々紛議ノ生ゼヌヤウニスルコトモ宜シイガ、併シ土地ノ賃貸ノ現在ノ價例ニ依ルト、例ヘバ水害ガアリサウダカラト云フノデ、ソレヲ見込シテ小作料ヲ減クト云フヤウナコトハ無い、平年ノ分量ダケノモノデ小作料ヲ定メテ置イテ、サウシテ水害或ハ旱害デモアリ、其他作物ノ出來ヌヤウナ場合ニ於テハ小作料ヲ減ズルト云フノガ今日ノ價例デアル、然ルニ平時ノモノ、二十倍、或ハ十倍ト云フモノデ、價ヲ定メヤウト云フト、サウ云フコトヲ止メテ原ヨリ高イモノガ出テ來ル、ソレノ價ヲ餘リ法律デ窮乏スルノ困ル、斯ウ云フコトヲ止メテ原則ヲ時價ニ依ルト云フコトニシテ置イテ、其物其物ニ付テ斟酌ノ出來ルヤウニシテ置ク方ガ宜カラウ、斯ウ云フノガ衆議院ノ論デアリマス、ソレデ土地建物ノ價ヲ定メル方法ヲ法律上極メルコトヲ省カレマシタ、尙ホ衆議院ニ於テ二十倍或ハ十倍ト云フノニハ論ハゴザイマセヌガ、土地ノ價ヲ賃貸價格ノ二十倍ニスルト云フノハ高イト云フ論モアリマシタガ、旁々法律デ斯ウ定メルノ止メテ土地ノ價ニ依ルト云フヤウニスルノガ穩當デアルト云フ論デアリマシタ

○男爵船越衛君 先ツ總體ノ質問ヲ了ツタトシテ條々ニ涉ッテ宜シウゴザイマスカ

○委員長(公卿二條基弘君) 總體ノ質問ガ無ケレバ條々ニ這入リマスガ……

○男爵船越衛君 私ダケハ總體ニ付デアリマセヌ

○委員長(公卿二條基弘君) 皆サン總體ノ御質問ハアリマセヌカ……ソレデ六條ニ這入ッテ御質問ニナルヤウニ……

○平山成信君 チヨット今ノ正親町サンノ御尋ニ關聯シタコトデアリマスガ、是ハ御間違ハナイノデアリマス、衆議院ノ修正案ノ四條ノ「土地建物」ト云フノガ無クナッテ仕舞ヒマシタニ拘ラザアトノ方ニ前項ニ於テ土地ノ賃貸價格ト稱スルハ「云々」ト云フ文字ガ殘ッテ居リマスガ「前項ノ土地」云々ト云フハ無クナッテ仕舞タヤウニ見エルノデスガ、是ハ何カノ間違ヒデアリマセヌカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ土地建物其物ノ價ノ方ハ削ラレマシタガ、地上權、永小作權ニ付テハ矢張り土地ノ賃貸價格ノ何倍ト計算スルト云フコトガアリマス

○平山成信君 「前項ニ於テ」トアリマスガ……

貴族院相續稅法案外一件特別委員會議事速記第一號

明治三十七年十二月二十三日

五

○政府委員(若槻禮次郎君) 前項ト申シマスノハ「船舶、地上權、永小作權及定期金ニ付テハ政府ハ左ノ方法ニ依リ其ノ價格ヲ評定ス」ト斯ウゴザイマス、此「一」「二」「三」ハ號アリマスカラ、ソレ「前項ニ於テ」トナッテ居リマス

○男爵船越衛君 第二條ノ中ニ衆議院デ一項加ヘマシテ「公共團體又ハ慈善事業ニ對シ爲シタル贈與及遺贈ハ課稅價格ニ算入セス」トナッテ居リマスガ、此中ニハ寺院ノ寄附ナドハ這入ッテ居リマセヌカ、慈善事業ノ中ニ……

○政府委員(若槻禮次郎君) 寺ノ方ハ慈善事業トハ申サレマイト思ヒマス、寺デ何カ慈善ノ事業ヲ經營シマシテソレニ對シテ贈與ヲスルノナラバ矢張り這入リマスガ唯寺ニ寄附スルノデハ慈善事業ノ寄附トハナラマイト思ヒマス

○男爵船越衛君 寺ニ何カ事ヲ起シテ慈善ノ事ヲスルトカ養育院ノコトナンドスルト云フノハ無論這入ルダラウト思ヒマス其外唯寺ヘ上ゲルノハ慈善ノ中ニハ入レヌデヤナ

○政府委員(若槻禮次郎君) 左様デゴザイマス、例ヘバ本願寺ナドニ慈善財團ト云フヤウナモノガ出來タヤウデアリマスガ、ア、云フヤウナ慈善事業ガ出來テソレニ寄附スルト云フノデアリマスレバ相續稅ノ價ニハ這入ラヌデアリマス

○桑田熊藏君 第二條ニ付テ御質問シタイノデスガ、華族世襲財產ト云フモノハ矢張り相續稅ヲ課稅ニナルノデアリマスガ

○政府委員(若槻禮次郎君) 世襲財產ニナッテ居リマシテモ矢張り同ク不動産動產ニ包含スルノデアリマス

○男爵船越衛君 少シ殘デ居リマスガ、ソコハ確カ何ガ立ッテ居リマセウカ、是ハ寺ノ仕事ニ屬シハ慈善の事業ニ屬スル寄附ト……少シ紛ハシヤウニ思ヒマスガ

○政府委員(若槻禮次郎君) ソレハ寄附者ガ何ノ爲ニ寄附スルト云フ意思ヲ言ヒ現ハシマスカ或ハ寺デ養育院育兒院デモ立ッテ居ル云フヤウナ慈善ノ事業ヲスル、ソレニ對シテ寄附スルト言ヒマスカシタキニハ、ソレダケ省クデアリマスカラ區別ハ付ク積リデアリマス

○桑田熊藏君 委員長ニ請求イタシマスガ、逐條ニ質問ヲ致スヤウニシタイト思ヒマス
○委員長(公卿二條基弘君) 逐條ニ質問シタガ宜カラウト云フ御請求デアリマスガ、御異議ガ無ケレバサウ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○伯爵正親町實正君 チョット質問イタシマス、世襲財產ノ質問ガアリマシタガ、ソレニ付テ一應同デ置キタイコトガアリマス、華族ノ世襲財產ト云フモノハ御承知ノ通り第一類土地ガ重モナルモノトシデアリマスガ、サウスルト例ヘバ大キナ土地ヲ持ッテ居ル人デ土地ハ大キイガ他ニ餘產モナイト云フ人デアルト假定メタ所デサウ云フ人ガ相續ノ時ニ相續稅ヲ取ラレ、其土地ノ時價ニシテモ賃賃價格ニシテモ相當ノ率ヲ取ラレ然ルニ隨分大キナ地面デアリマスカラ金高モ高クナリマスカラ其租稅ヲ納メルコトハ出來ヌ其土地ノ一部分ヲ賣却シテ納メナケレバナラヌ、然ルニ世襲財產法ニ據レバ其土地ヲ賣却スルニハ又代リノ填補ヲ持ッテ行カケレバ賣却ハ出來ヌト云フコトニナッテ居リマス、サウスルト一方ニハ是モ法律上極デ居ルコトデアリマスカラ其方ニモ從ハナケレバナラヌ、一方デハ稅ヲ納メナケレバナラヌ、其土地ヲ賣ルコトハ出來ヌ、稅ハ納メラレヌト云フヤウナ場合ガ出來ハシナ

イカト思ヒマス、是ハ假定シタ想像デアリマスガ、サウ云フ場合ニハドウナルデアリマスカ
○政府委員(若槻禮次郎君) サウ云フヤウナコトモゴザイマセウシ、旁デ延納ト云フコトガ許シデアリマス、延納ト云フコトニナレバ千分ノ幾ラト云フ稅金ヲ又二年ニモ割ルト云フ時ニ至ッデハ、ソレ位ナ大キナ財產デアッデ大キナ稅額ノ出ル位ノ財產デアリマスレバ、ソレ位ノ稅ノ出ヌコトハゴザイマスマイ、法律上ノ疑ヲ決スルニハ國稅徵收法ナドニアリマセウト思ヒマスガ、唯租稅ヲ納メルト云フコトニ付テハ延納ヲ許スコトニナレバ十分解決ハ出來ルト云フ積リテ政府ハ發案イタシマシタ

○委員長(公卿二條基弘君) 第一條ヲ問題ト致シマス、之ニ付テハ御質疑ヲ……
○伯爵正親町實正君 モウ一ツ矢張り總體論デアリマスガ、此參考書ノ中ニ動產ノ方ニ個人所有動產總金額二十一億云々ト云フ其中ニ家財價格ヲ九億八千万ト云フノハドウ云フ目安デアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ全ク分リマセヌ、先ヅ是位アラウト云フテ極メタノデアリマス、何ブドウシテ斯ウ極メタカト御尋ネニナリマスト是ハ分ラヌト申上ゲル外ゴザイマセヌ、併シハ價ガ無イト云ヘバ是ハ落チテ居ルト仰セニナルニ相違ナイカラ斯ウ定メタト云フダケデ、實ハ大藏省ニ於テモ分リマセヌ、又ドナタガ御調ベニナッテ所ガ精確ナ數ハ得ラレヌト思ヒマス

○委員長(公卿二條基弘君) 最早大體ニ就テ御質問ノ方ハゴザイマセヌカ
(「無シ」ト呼フ者アリ)
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(公卿二條基弘君) ソレデハ第一條……一條ニハアリマセヌカ
(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○子爵水野直君 第二條ニ據リマスト財產ハ動產不動産其他悉皆ノ權利トナッテ居リマスト相續稅ヲ課セラレルノハ個人ノ所有スル總財產ト云フコトニナル、之ニ稅ヲ課スルコトニナルト一般資產稅ノヤウニナル、ソレガ昔ノヤウニ財產ガ土地ノミト云フヤウナ極ク簡單ナ種類デアッテ場合ト違ッテ今日商工業ガ非常ニ發達シテ財產ノ種類ガ非常ニ多クナッデ色ミ變テ來ルト云フト、此大キナ總額ヲ調ベルト云フコトハ餘程困難デハナイカ、是ハ何カ十分脫稅モナク財產ヲ調ベルニハ落チモナク調ベラレルヤウナ途ガ立ッテ居ルモノデゴザイマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 當初相續稅ヲ取リマス趣意ヲ申上ゲマシタ時ニ申上ゲタ如ク此相續稅ハ財產ニ就テ歲入ヲ得ヤウト云フ方法デアリマシテ、而モ其財產ノ價格ノ調査ナドノ付クベキ一番好機會ナル、相續ノ機會ニ於テ取ラウ、斯ウ申上ゲマシタ、兎ニ角財產ト云フモノガ全軀ノ相續稅ノ目的ニハナラヌノデ、ソレデ御話ノ如ク土地ノ如キ不動産ハ重モナル財產アル、外ニハ餘リナイノデ今日ト違ッテ居リマス、違ッテ居リマスガ併シ矢張り違ッタダケノ人ノ財產ニ對スル注意モ多クナッテ居ルノガ相當デナケレバナラヌト思ヒマス、併シソコニ至リマスト先程モ色ミ他ノ方ニ御答申シマシタ如ク、ソナラバ總テノ財產ガ脫稅ナク取レル方法ガアルガト云フト、是ハ相續稅其モノ、性質トシテ之ヲ何モ脫ケナク取ラウトスレバ、檢査トカ色ミナコトモシナケレバナラヌ、然ルニドコニモサウ云フコトヲ致シテ居ル所ハゴザイマセヌ、今回政府ガ發案スルニ就テハ或ハ各國ノ

實見シテ例ヲ矢張り主トシテ外仕方がゴザイマセヌノデ、大體ニ於テ徵稅ノ目的トシテハ矢張り是ハ煩細ノコトヲヤッテ、稅ヲ取ラウト云フコトヲ企テルニハ及バヌト云フ頭テ進行イタス積リデアリマス

○子爵水野直君 第二條ノ「本法施行地ニ住所ヲ有スルトキ」トアル此住所ト云フノハ戶籍上ノ本籍ヲ申シマスカ、又ハ居所生活ノ本據ト云フヤウナ意味ノ住所デゴザイマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 本籍ノ方デハゴザイマセヌノデ、生活ノ本據ト云フ意味ノ住所デゴザイマスカ

○男爵吉川重吉君 此財產權ト云フコトデゴザイマスカ、事ニ依ルト金錢ニ見積リ難イト云フヤウナ財產權ト云フコトガアルデハゴザイマセヌカ、若シサウ云フコトニシマス課稅ノ標準ト云フモノハドウナリマスカ、伺ヒタイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 此三ニゴザイマス財產權ト云フノガ先ヅ財產權デゴザイマスカ、詰リ一ノ方デハ無記名ノ公債證書或ハ株券ト云フモノニナリマス是ハ動產ト同ジク見マシテ動產ニナリマス、記名デアリマスモ動產デハゴザイマセヌカラ詰リ債權トナッテ此三ノ方ニ這入リマス、ソレカラ其他貸金ヲ有ッテ居リマス、此貸金ハ返済ヲ受ケル權利者ノ如キハ財產權ガ是ニ這入リマス、廣ク財產權デゴザイマスカ、ソレノミデハアリマセヌト云フコトハ無論デゴザイマスカ、其以外ノモノハ何デアルト云フトマ著作權デゴザイマス、發明權デアルトカ若クハ特許權デアルト云フモノ……發明權ト特許權ハ同様カモ知レマセヌガ、マアサウ云フモノデアラウト思ヒマス、是等ハチヨットシタコトデ殆ト價ニナラヌヤウナモノデ財產權ト云フモノハマセヌガ、餘程有益發明デモ致シマス、ソレニ對シテ數萬圓數十萬圓モ年々所得ヲ得ルヤウナコトデアリマス、其モノハ矢張り金錢ニ見積ルコトガ出來マヌノデ、大體ニ於テ金錢ニ見積ルコトガ出來ヌモノハアルマイト思ヒマス、極ク其金錢ニ見積ルヤウナモノデアリマスレバ、初カラ相續財產ナリト本人モ言ヘマスマイ政府ノ方モ其所マデ至ッテ見積リ付ケルト云フ考ハ有チマセヌ

○子爵水野直君 チヨット例ヲ伺ヒマスカ、被相續人ガ内地ニ居ル場合デ、此被相續人ガ臺灣ノ土地ヲ十分有ッテ居ッテナラバ、ソレハ其相續稅ヲ取ルコトニナルノデゴザイマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 臺灣ノ土地ニ就テハ相續稅ヲ取リマセヌ

○委員長(公爵二條基弘君) 第二條ニ就テ御質問ハアリマセヌカ、アリマセヌケレバ第三條ハ即チ衆議院ノ方ニ就テ……

○子爵水野直君 第三條ノ此「相續開始前一年內ニ被相續人カ本法施行地ニ在ル財產ニ付爲シタル贈與」斯ウ云フコトニ就テ此一年ト云フコトハ相續開始カラ起算スルカ、此法律ヲ發布シタル以前ニマテ遡ルカト云フ疑ガ一ツゴザイマス、ソレカラシテ第二ニ此贈與ト云フモノハ相續稅ヲ免レルノ防グ爲ニ贈與ヲ入レテアルト云フナラバ、惡意ノ贈與ノミ詰リ脱稅ノ爲ノ贈與ト云フコトノミ含ムノデゴザイマセウカ、又次ニ其贈與ノ範圍ハドノ位ノ所マデノ贈與ト云フヤウナコトガ、此所ニハゴザイマセヌカ何カ御見込デモゴザイマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 大體ノ趣意ハ一年以内ダケノ贈與ハ矢張り加ヘルト

云フコトニシテ置カスト、脱稅ノ弊ガ起ラウト云フノデ作リマシタケレドモ、既ニ法律トナッテ出マシタ以上ハ脱稅ノ意思ノアルモノ、此所ニ加ヘラレルト云フコトニハナリマセヌノデ、一年間ノ贈與ハ總テ加ヘマス、ソレカラ贈與ノモノニ就テハ銘々ドモ年々末ヤ何カニ互ニ贈答スルヤウナコトヤ何カアリマス、贈與ノ中ニハサウ云フヤウナ贈與モアリマスカ、サウ云フヤウナ事柄ノ贈與ヲ云フノデハゴザイマセヌノデ、詰リ此財產ノ一部ヲ分ケテヤタト云フヤウニ見エタノガ即チ贈與デアリマス、日々ノ贈リ物ナドト云フ事柄ハ勿論茲ニハ加ハリマセヌ、ソレカラ法律施行前ニモ及アカト云フコトハ實ハ衆議院ノ委員會デ質問モゴザイマシテ、私ハ相續ノ開始ハ法律ガ施行サレテ後ノ話デアッテ、施行セラレヌモノニハ及バヌヤウニ左様ニ考ヘテ答ヘテ居リマシタガ、併シ斯ウ云フヤウナ法律ガ出ルト云フトサウハイカヌト云フコトガ衆議院デ論ガアリマシタ、詰リソコヘ行クト裁判官ノ判斷ニ任セル外ナイノデ、今日段々他カラ説明ヲ聞イテ見ルト私ノ説明シタヤウニハ行カヌト云フコトヲ聞イテ居ル所ニ由ッテ見ルト、斯ウ云フ法律ガ出マス其相續ヲ開始シタノハ本法施行ノ後ニアリマス以上、贈與シマシタノハ本法施行前アツタ價ハ加ヘラルト云フ解釋ヲスルコトガ相當ダト云フヤウナ注意ヲサレマシテ、ドウモ私共一人デ申シタコトガソレハ一人ノ解釋ニナラヌモノデスカ、今日デハ其解釋ノ方ガ宜イヤウニ考ヘマス

○男爵船越衛君 今ノ御辯明ダト法律ガ出タ以上……財產ハ遡テ取リマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ其價ヲ加ヘルト云フダケデゴザイマス、現ニ贈與ヲ受ケタ者カラ稅ヲ取ルト云フ規定デアリマセヌカラ計算ニ加ヘテ、課稅ヲ計算スルトキニハ本法ノ既ニ施行セラレヌトキデアラカラ、ソレデ構ハヌト斯ウ云フ論ニナッテ居リマス

○委員長(公爵二條基弘君) 第三條ハモウ御質問ハアリマセヌカ、アリマセヌバ第四條ニ移リマス

○子爵稻垣太祥君 チヨット第三條ノ終ヒノ方ヲ伺ヒタウゴザイマス、此永代借地權ハ課稅價格ニ算入シナイ譯ヲチヨット伺ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 永代借地權ト云フノハ御承知ノ如ク外國人ガ居留地ニ於テ持ッテ居リマス權利デゴザイマス、此權利ハ條約上モ約束シタコトガゴザイマスカ、ソコデ其權利自體ニ對シテハ稅ヲカケヌト云フコトニナリマス、相續稅ト云ヒマスノハ其權利自體ニ對スル稅ナリヤ否ヤト云フコトハ大分問題デゴザイマス、既ニ永代借地權ニ付テハ權利自體ニ對スルモノデナイ、登錄稅デスラ取ラナイト云フコトモアル位ノモノデアルノニ、其登錄稅ヨリモ相續稅ハ大分其權利自體ニ關スルコトガ多ウゴザイマスカ寧ロ立法上省イテ置イタラ宜カラウト斯ウ云フ見込デ省キマシタ

○子爵稻垣太祥君 チヨット伺ヒマスカ、墓場ナドデゴザイマスカ、墓場ナドニハ隨分永代貸渡ト云フノガアルヤウデゴザイマスカ、サウ云フノハ此中ニ這入リマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 永代借地權ト云フノハ法律上限定シタ意味ヲ以テ居リマス、外國人ガ居留地ニ持ッテ居リマスモノ以外ハ這入リマセヌ

○男爵西五辻文仲君 此二ノ所ニ被相續人ノ葬式費用ト云フコトガアリマスカ、是ハドウ云フ所デ御認メナサルコトニナリマスカ、其相續人カラシテ葬式ノ豫算ヲ書出シタノヲ認メルト云フノデアリマスカ、ソレカラ又醫藥ノ挨拶、サウ云フモノナドハドウ云フコトニナリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) イツレ此相續稅ヲ課シマスノハ、相續ノ開始後三箇月内ニ届出ルコトニナリマス。然レハ三箇月ヨリズツト後ニナリマス、サウスルト葬式ノ費用ハ豫算デナクハ既ニ極デ居リマス。是デケ要ツタカラト云ハソレガ不正デナイ限リハ其儘認メマス、ソレカラ醫藥ト仰ツシヤツタ、ソレハモウ既ニ拂ッテ仕舞ッタ後ナラバ相續財產ガソレダケ減ツテ居リマス、若シ拂ハヌアルナラバ債務デゴザイマス。カラ債務トシテ矢張り引キマス。

○委員長(公爵二條基弘君) ソレハ四條ノ所デ御質問ヲ……

○子爵水野直君 第六項ノ無期定期金ト云フコトガドウモ了解シニクウゴザイマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) 實ハ此無期定期金ト申シマスノハ今日ノ我國ニ於テハマダ實例ハアルマイト思ヒマス、英吉利ノこんそる公債ナドガ殆ド無期定期金デゴザイマス、元金ノ返ルト云フコトハゴザイマセヌカラ……ア、云フヤナモノガ將來日本ニ出來ヌトモ限リマセヌカラ、規定ハ設ケテ置キマシタガ現在ニ於テハ殆ド實例ハゴザイマセヌ、永久ニ一定ノ時期ニ於テ金錢ヲ仕拂フト云フ義務ヲ負フタ者ニ對スル債權デゴザイマス。

○男爵吉川重吉君 今ノ御説明デチヨット少シ迷ヒヲ起シマシタ、英吉利ノこんそる公債ノ如キガ無期定期金ト云フ御説明デゴザイマシタガ、ア、云フノハ日本ノ公債ノ如キトハ違フケレドモ矢張りアレハ期限ガアルノチヤゴザイマセヌカ、こんそるト云フモノハ其内ノ利子チヤナイノデゴザイマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) こんそる公債ト云フノハチヨット御分リ易イト思ッテ申上ケマシタガ、無論應募シテ居リマセウケレドモ、何年間ニ償還スルト云フコトハナイノデ、政府ガ償還シヤウト思ヘバ償還スル、詰リ永久公債デゴザイマス、ソレデチヨット例ニ引キマシタガ、適切ナ例ヲ言ヒマスレバ全ク是ダケノ金ヲ拂フニ付テハ永遠ニ自分竝ニ自分ノ相續人ニ於テ毎年幾ラツ、仕拂ッテ呉レルカ、宜シイト云フヤウナ契約ヲシマシテ、ソレニ依テ實行セラル、モノガ無期定期金デゴザイマス、サウ云フ契約ハ容易ニアルマイト思ヒマス。現在ニハアリマセヌカ、こんそるナドハ似テ居リマス。カラソレデ申上ケマシタ。

○委員長(公爵二條基弘君) モウ四條ニ御質問ハアリマセヌカ、アリマセニヤ第五條

○武井守正君 何デモナイコトデゴザイマスガ、船舶ノ二十年以後ハ遞減シナイデ押ヘテ置キマス。カ、何時マデタツテモ五分ノ一ノ價ヲ保ツテ行クト云フ譯ナノデゴザイマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) 船舶ノ使用シテ居リマスモノハ左様ニ見積リマスノデゴザイマスガ、船舶ガ廢船ニナリマスレバ無論ソレハ見積リマセヌ。

○武井守正君 ソレハ無論デゴザイマセウ、今日七十年代グラ井ノガ澤山アリマス。カ、例ヘバ船價ガ五十萬圓アル、ソレヲ二萬圓ツ、二十箇年行ケバ四十萬圓減シテ十萬圓ノ價格ガ存在シテ居ル、ソレガ二十年以後ハ十萬圓失張、イツマデモソレダケノモノデ押ヘラレテ行ク譯デアリマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) 左様ニナリマス、二十年タツタモノハ現在船ガアリマス

ナラバ其物ノ價ハ製造費ノ五分ノ一ノ價ト見ルノデアリマス。

○武井守正君 サウスルト云フタ通り五十萬圓ノ船トスルト十萬圓ハ船ノアル限リ

十萬圓ト押ヘテ置クノデスカ。

○政府委員(若槻禮次郎君) サウナリマス、詰リ斯ウナルノデス、船舶ハ先ツ二十五年間ヲ以テ船齡トスルト斯ウ見マシタ、所ガ實際ニ於テハ二十五年以上使ッテ居ルノモゴザイマス。法律ノ表デハ長イカラト云フテ、サウ長クスルト價ガ上リマス。カ、二十五年デ船齡ノ盡キルモノト勘定シテ、毎年二十五分ノ一ツ、引イタモノヲ其物ノ價トスル、斯ウ定メマシタガ二十五分ノ一ツ、二十年間引イテ行キマス。ト大變ナ減價ニナル、今日ノ現狀デハ恐ラクモツト實價ガアルニ拘ラズ矢張り二十五分ノ一ツ、引イテ行クト云フコトニナルト二十五年經ツト船ハ現存シテアルケレドモ價ハ九分無クナル、サウナツテハ不都合ダカラ二十年マデハ遞減スル、ケレドモソレカラ後ハ廢船ニナラズニアルナラバ、ソレダケハ殘シテ置カウト云フ趣意デ茲ニ現價ヲ見マシタノデアリマス。

○委員長(公爵二條基弘君) 第五條ニ御質問ガアリマス。

○男爵西五辻文伸君 此衆議院デ削リマシタ「公正證書ヲ以テ證明スルモノノ外」之ヲ削ッテ仕舞フト政府ガ確實ト認メルト云フノハドウ云フ方法デ……

○政府委員(若槻禮次郎君) 當初政府ノ發案シマシタ時ニ「公正證書ヲ以テ證明スルモノノ外」ト致シマシタノハ先ヅ公正證書證明スルモノハ確實ナモノナルカラ、ソレナラバ別ニ云フ確カカ確カデナイカト云フコトヲ研究セズ其儘認メマス。其外ノモノハ確實ナルト云フコトガ明カニナリマセヌト、ドウモ證書ナドヲ作爲シテ來ラレルト云フコトガアルト困ルカラ、ソレデ確實カナモノヲ舉ゲルト云フコトニ致シマシタ、然レニ衆議院デハ今日デハ公正證書ニシテモ不確實ナモノガアルカラ、公正證書ナラ宜イト云フコトニシテ置クト政府ハ之ニ依ッテ欺サレルト云フ虞ガアル、ソレヨリハ凡テ確實ナモノナラバ宜シイト云フコトニシテ置イテ公正證書デモ確實ナモノハ宜イ、私署證書デモ確實ナモノハ宜イ、或ハ證書ガ無クテモ確實ナモノハ認メテ置ク、凡テ確實ナモノハ認メテ置ク方ガ宜イト云フノデ此公正證書ト云フコトハ削除イタシマシタ。

○桑田熊藏君 確カト政府ガ認メルト云フコトニ付キマシタハ何カ施行細則デモ出來

マス。カ、又ハ主稅官ノ任意ニナリマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) 此認定ニ屬スルコトヲ施行規則デ定メマス。ト窮屈ニナツ

テ却ッテサウナルト實際ニ適セヌヤウニナルグラウト思ヒマス。カ、施行規則デハ之ヲ定メナ

イ積リデゴザイマス。

○委員長(公爵二條基弘君) 五條ハ御質問ガアリマセヌケレバ第六條

○男爵西五辻文伸君 此課稅價格ガ相續ニ在ッテト云フコトガアリマスガ、先刻正親

町伯爵ヨリ華族ノ世襲財產ノコトデ御尋ガアリマシタガ、アノ世襲財產ナドニハ隨分公

債證書其他株券ナドモナツテ居リマス。シ、土地モナツテ居リマスガ、例ヘバ刀劍類ト云フ

ヤウナ物ハドウ云フコトニ看做スノデアリマス。カ、古金銀ナドハ保字小判ナドト云フモノハ

其時ノ價格モアリマスガ、刀劍トカ或ハ詩繪、或ハ書畫ト云フヤウナ物ハドウ云フコトニ

之ヲ見積リ積リデアリマス。

○政府委員(若槻禮次郎君) ソレハ先程申上ケタ如クサウ云フモノハ實物デモ見デ

之ヲ鑑定スルト云フコトデアッタラバ色價ノ付ケヤウモアリマセウケレドモ、一々檢査スル

ト云フヤウナ規定ハゴザイマセヌカラ、サウスルト詰リ相續人ナリ或ハ相續財產管理人ガ

是デケデアラウト考ヘレバ、ソレニ依ルノ外仕方アリマセヌ。

○委員長(公爵二條基弘君) 第六條ハモウ御質問ハアリマセヌカ、ゴザイマセネバ第七條ニ移リマス

○平山成信君 此第七條ノ「戦争ノ爲受ケタル傷疾疾病」ト云フコトデス、其範圍ハドンナコトニナルノデゴザイマセウ、チヨット申シマス戦争ノ爲メ傷疾ナラ能ク分テ居リマスガ、疾病ト云フコトハ戦争ノ爲ニ起ツタモノト云ヘバ現ニ戦争ヲシタ者ノ外ハ此範圍ニ這入ラヌト云フコトニナリマセウ、戦争ノコトニ關係シテ戦地ニ行ツテ居テソレガ爲ニ其職務ニ起因シテ病氣ニナツタト云フヤウナ例ヘバ陸軍ノ御醫者サンガ兵站病院等ニ於テ勤務シテ居ル中ニソレガ爲ニ病氣ニナツタト云フヤウナモノハ此範圍ノ中ニ這入ルノデゴザイマセウカ、又ハ直接戦争ヲシテソレガ爲ニ起ツタ病氣ナケレバ之ニ這入ラヌト云フヤウナ精神デアリマセウカ

○政府委員(若槻禮次郎君) ソレハ戦争ニ行ツテ居テ不健康地ニ居リマスト云フコト或ハ風雪ニ曝サレタルカ云フ爲ニ疾病ヲ起シマシタ者ハ矢張り戦争ノ爲ニ受ケタル疾病ト見ル積デゴザイマス

○平山成信君 サウスルト非戦闘員、今申上ゲタ醫者ミタヤウナ、軍醫ミタヤウナ者ガ病院ニ勤務シテ居ル者ナドデアリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 戦地ノ兵站病院ナドニ居リマス者ガサウ云フ不健康地ニ居ルト云フコト或ハ多數ノ病人ヲ治療スルトキニ、ソレガ傳染シテ病氣ヲ起シマシタモノトキハ含ム積リデゴザイマス

○男爵船越衛君 一ツ御尋シテ置キマス、其所ハ分リマシタガ、其「發病後一年ヲ經過シ死亡シタルトキハ此ノ限ニ在ラス」ドウ云フ譯デ一年ヲ經過シタル者ハ相續開始ニナルノデゴザイマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 詰リ是ハ一ツノ特典デアリマスニ付テハ凡ソ何所カデ限リマセヌト云フコト、是ハ戦地ノ病氣ト云フテ、ソレカラ五年後デモ十年後デモ此特權ヲ受ケルト云フコトニナリマス限リマセヌカラ、ソコ何所カ相當ノ限リヲ付ケルト云フコト、凡ソ創ナドデモ一年以上癒ラヌト云フコトハアリマス、一年以上ニ渉ルナラバ或ハ他ノ誘因カラ來ルモノモアラウト思フ、ソレデ先ヅ一年クラ井特典ヲ認メルコトニシテ置カウト云フ趣意デゴザイマス

○男爵船越衛君 或ハ他ノ病デ死シタルノカモ分ラヌ、ソレハ宜イガ分リサヘスレバ宜カリサウナモノ……

○政府委員(若槻禮次郎君) ソレガ矢張りドウモ法律ニ限リテ設ケマシタラウガ、是ガサウダト云フコトハサウダト云フヤウナ役人ト其相續開始ノ場合ニ於テ争フコト云フコトガアリマスノハ極メテ而白クアルマイと思ヒマス、矢張り一年クラ井ヨリ長イ期限ヲ認メテ無イ、ソレデ凡ソ特典ヲ與フベキ意思ハ貫クモノデアル、是カラ先キハ雙方ノ争ガ無イヤウニ極リ付ケタ方ガ宜イト云フコトニシマシタ

○男爵船越衛君 平山サンノ御尋デ分リマシタガ、軍屬ガ戦ヲシナイデモ戦時ノ用ヲシタラ此規定ガ嵌リマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 戦地ニ行ツテ軍事上ニ關係シテ居リマス者ガ其事ノ爲ニ疾病ヲ起シマシタ者ハ矢張り此規定ガ嵌リマス

○男爵本多政以君 第七條ノ軍人軍屬ヲ優待サレル趣意ハ分リマシタガ、私考ヘマスルニ此文官デモ或ハ公吏デモ國事ノ爲ニ斃レタルト云フコトニ對シテハ同ジコトグラウト思フ、ソレハ此所ニ無イノハドウ云フ理由デアアルノデアリマセウカ、又他ノ相續税ノ行ハレテ居ル各國ノ例ハドウ云フコトニナツテ居リマスカ、ソレフ一ツ伺ヒマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 例ノ方カラ先キニ申上ゲマス、斯ウ云フヤウナ規定ノアリマスノハ他ニハ見エテ居リマセヌガ、英吉利ニ相續税ガゴザイマシテ、英吉利デハ兵卒ト水兵トニ限リマス、將校以上ハ這入リマセヌ、況ヤ他ノ軍屬ナドハ這入リマセヌガ、兵卒ト水兵トニ似寄ツタ者、是ガ軍役中ニ疾病ヲスルト相續税ヲ課セヌト云フコトニナツテ居リマス、我邦ニ於テハ兵卒、ニ水兵ニ限ルト云フノハ相當デアルカ、或ハモウツツ擴ゲタ方ガ相當デアアルカト云フヤウニ考ヘテ見ルト、是ハ所得税ナドニ於テモ、モウツツ廣クナツテ居ルヤウデアアル、其範圍ハ英吉利ナドヨリ今少シ廣クスル方ガ宜カラウト云フコト、是マデ認メマシタノデ、御話ノ他ノ文官モ赤十字社ノ救護班ト云フモノモゴザイマセウガ、先ヅ所得税ガ軍人ト斯ウアツタモノデスカラ世間デ色々唱ヘラレテアルノモ斯ウ云フ人達ノコトガ一番多クアツタモノデアリマスカラ、ソレデ英吉利ノ例ナドヲ斟酌シマシテ同時ニ斯ウ云フヤウニ定メタ次第デゴザイマス

○委員長(公爵二條基弘君) 第七條ハモウ御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセネバ第八條、是ニハ衆議院ノ修正ガゴザイマス……御質問ガゴザイマセネバ第九條

○武井守正君 マダ箇條ガ大分澤山ゴザイマスガ、今午砲ガ鳴リマシタカラ一應休憩ニナラムコトヲ望ミマス、大分腹ガヘリマシタカラ……

○委員長(公爵二條基弘君) ドウデスカ、午後ハ大分御差支ノ方ガアルヤウデゴザイマスカラ、モウ少シ氣張ツテ質問ヲ續ケマセウ、第九條ハドウデスカ……第九條、御質問ガゴザイマセネバ第十條……ゴザイマセネバ第十一條……第十一條ニゴザイマセネバ第十二條……御質問ガゴザイマセネバ第十三條……ゴザイマセネバ第十四條

○子爵稻垣太祥君 十四條ノ第二項ハ是ハ三箇月デハ少シ少ナクハゴザイマセヌカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ通知ヲ受ケタル時カラデゴザイマスカラ、歐羅巴ナラ歐羅巴ニ居リマシテ、其歐羅巴ニテ通知ヲ得タル時カラ二箇月デゴザイマスカラ、今日ノ交通デハ一箇月半アレバ出來ルノデゴザイマス、其以上ニ又一箇月半ノ猶豫ガゴザイマスカラ、一番遠イ所ヲ想像シテモ三箇月ナラバ相當デアラウト思ヒマス、初メコチカラ出シタル時カラデハ無理デアリマスガ、向ウカ通知ヲ受ケテカラ三箇月アレバ差支ナイと思ヒマス

○男爵船越衛君 三四箇條ツ、東ネデ願ヒタウゴザイマス

○委員長(公爵二條基弘君) チヨット此處ニ入り狂ヒガアリマスカラ……次ニ第十五條

が、凡ソサウ云フヤウナ工合ニ、一部ハ官吏一部ハ民間ノ人ト云フヤウナ者ヲ以テ組織シテ致ス積リテゴザイマス、サウシテ其場所ハ矢張り稅務署ニ置キマセヌト異議ヲ申立テ人ノ爲ニ大變不便デゴザイマスカラ、稅務署ヘ置クヤウニ致シマス

○平山成信君 チョット今ノニ關聯シテ居リマスガ、政府決定スル人ハ監督局長カ何カニナリマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) ソレハ矢張り審査委員會ノアリマス所ノ者デ、即チ稅務署デアレバ其所決定シマス

○委員長(公費二條基弘君) 十五條モ御質問ハゴザイマセヌカ、……ゴザイマセネバ此衆議院ノ方ノ十六條ガ入リマスカラ、アトハ從テ條數ガ變テ來マスケレドモ、政府案ノ十六條ト一緒ニヤツテ仕舞ヒマス、兩方質問願ヒマス

○男爵西五辻文伸君 先刻正親町君カラ御尋デアツタガ、土地ガ世襲財產ニナッテ居ルト云フ場合ニ、一時ニ納稅ガ出來ヌ時ニハ、是デ見ルト云フト二年以内ノ年賦延納ブスルコトガ出來ル、ソレニハ擔保ヲ提供スル、世襲財產ニナッテ居ルモノハ擔保ニ入レルコトハ出來ヌコトニナッテ居リマスガ、サウ云フ場合ニハドウ云フヤウニナリマス

○政府委員(若槻禮次郎君) 擔保ト云フノハ廣ク書イテゴザイマス、人デモ物デモ共ニ宜イ積リテゴザイマス、即チ人デ擔保シマシテモ宜シウゴザイマス

○委員長(公費二條基弘君) 御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセネバ十七條、是ハ便宜上政府案ノ方デアリマセウ、御質問ハアリマセヌカ、……御質問ガ無ケレバ十八條、……ゴザイマセネバ十九條、……ソレデハ少シ束ネテ致シマセウ、十九條御質問ガ無ケレバ二十條カラ二十二條マデ、……御質問ガナケレバ二十三條ヨリ二十五條マデ、ソレカラ附則トモ……

○男爵吉川重吉君 二十四條ニ其ノ職ヲ失フト云フコトガゴザイマス、其職ト云フノハ何ヲ指シテ申シマスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 是ハ審査委員デアリマス、審査委員ト云フ職ヲ申シマス、ソレカラ官吏ハ無論、官ヲ免ズルト云フデアリマス

○男爵吉川重吉君 此相續稅ノ二十條ヲ見外シタ場合デゴザイマスガ、二十條ニ據リマスルト相續稅ノ審查ニ參與シタル者ハ其審查ニ關スル事項ヲ他ニ漏洩スルコトハ出來ナイ、ソレヲ他ニ洩シタルモノハ職ヲ失フト云フコトニナッテ居リマスガ、是ハ其職ヲ終ツタ後ニ洩スコトガアルカモ知レヌデスネ、審査委員ト云フノガ死シタ後ニ職ヲ失フト何ニモナラナイ

○政府委員(若槻禮次郎君) 繼續シテハサウ云フ不信用ノ人ニハヤラセヌト云フコトニナリマス

○男爵吉川重吉君 再ビヤラセヌト云フノデスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 再ビト申シマスノハ更ニ何年モ經過シテ選舉ナラバ更ニ選バレル、政府ガ命ズルモノナラバ更ニ命ズルト云ヘバソレハ別デアルガ、現在審査委員ト云フ資格デ、或ルニ事件ガ起ツタトキニ審査ヲスル、サウシテソレヲ世間ニ向ッデアノ人ノ財產ハア、グッタ、斯ウグッタ、ト言ウテ、其資格ニ於テ洩セバ其次ノ時ハ其資格ヲヤラセルカト云フト、ソレハサセナイ、斯ウ云フ意味デ職ヲ失フト申シマシタ

○男爵吉川重吉君 マダ少シ分リ兼ねマスガ、例ヘバ甲ト云フ人ハ死シタ、其相續開始ノ場合ニ乙ト云フ人ガ此審査委員デアツタ、ソレデ其相續ノ問題ガ了ツタ後ニ即チ其審査委員ト云フ職ガナクナツタ後ニ甲ノ財產ヲ他ニ洩シタ、更ニ丙ト云フ人ノ財產ニ付テ相續開始ガアツタ、其時ニ乙ト云フ人ハ其審査委員ナルコトハ出來ナイ、斯ウ云フ意味デスカ

○政府委員(若槻禮次郎君) 左様デゴザイマス

○委員長(公費二條基弘君) 御質問ハゴザイマセヌカ、ソレデハ本日ハ此質問タケニ止メテ置カウト思ヒマス、此次ハ何時開イタラ宜シウゴザイマセウカ、……二十五日ノ午前十時ヨリ始メマス、今度ハ少シ長クヤル積リテ御出デラ願ヒマス、チョット申シマスガ、今日御出席ノ御方ヘハ最早通知ヲ出シマセヌカラシテ二十五日ニドウゾ御出デラ願ヒタウゴザイマス

午後零時十五分散會

出席者左ノ如シ

委員長 公費二條 基弘君

伯爵正親町 實正君 子爵谷 子爵水野 直君 男爵船越 高木 兼寛君 男爵西五辻 男爵本多 政以君 武井

國務大臣 大藏大臣 男爵曾禰 荒助君 干城君 子爵稻垣 太群君 子爵船越 平山 成信君 男爵西五辻 文伸君 男爵吉川 重吉君 男爵本多 政以君 武井 桑田 熊藏君

政府委員 大藏次官 阪谷 芳郎君 大藏省主計局長 荒井賢太郎君 大藏書記官 松本 重威君 大藏省主稅局長 若槻禮次郎君 大藏書記官 菅原 通敬君 司法省民刑局長 河村讓三郎君

大藏省主計局長 荒井賢太郎君

大藏書記官 松本 重威君

大藏省主稅局長 若槻禮次郎君 大藏書記官 菅原 通敬君 司法省民刑局長 河村讓三郎君